

平成 25 年度八戸市復興計画推進市民委員会意見への対応状況 (平成 26 年 4 月末現在)

2. 地域経済の再興

市では平成 25 年度に八戸市復興計画推進市民委員会を 4 回開催し、委員の皆様から御意見をいただきました。

本資料は、「2. 地域経済の再興」への御意見に対する平成 26 年 4 月末現在の市の対応状況についてとりまとめたものです。

なお、対応状況は、下記区分のとおりです。

【対応状況の区分】

- = 意見を踏まえ対応に努めている
- = 意見を参考に検討段階
- × = 意見への対応が難しい

復興計画全体に関する総括意見

No.	意見の内容		[担当課]
	対応状況	対応内容	
1		<p>「地域経済の再興」については、水産物・農林畜産物等の高付加価値化の推進や種差海岸の三陸復興国立公園指定等を踏まえた新たな観光産業の創出など、当市の特性を最大限に生かした取組を戦略的に推進すること。</p> <p>【水産事務所】 高度衛生管理された荷捌き施設の整備や、八戸地域プロジェクト(事務局：八戸漁業指導協会)の推進により、改革型旋網漁船や欧州型トロール漁船の導入による漁獲物の高鮮度化、高品質化、更には新たな水産加工原料の確保等を図り、水産物の高付加価値化を推進します。</p> <p>【農業経営振興センター】 平成 23 年度から、八戸野菜のブランド力の創出等を目的とする「Let's eat 八戸野菜フォーラム」を開催しています。 また、「八戸市農産物ブランド戦略会議」を平成 24 年度に設置し、八戸伝統野菜(八戸糠塚きゅうり、八戸食用菊)及び八戸特産野菜(八戸いちご)等の生産・販売戦略を策定するとともに関連施策を推進しています。(農業新ブランド育成事業)</p> <p>【観光課】 国立公園指定や、みちのく潮風トレイルの一部開通を契機とした地元や民間による商品開発等、新たな事業の動きがあれば、市としても支援してまいります。</p>	<p>[水産事務所] [農業経営振興センター] [観光課]</p>

復興計画に掲げた4つの基本方向ごとの意見

2 「地域経済の再興」に関する意見

No.	意見の内容		[担当課]
	対応状況	対応内容	
2		水産業の再興については、水産業の地域間競争をリードしていくため、マーケティングが重要になることから、国内のみならず海外も含めた戦略を考え、水産業界における課題とニーズを整理した上で施策を実施していく必要がある。	[水産事務所]
		意見 6 で回答	
3		農林畜産業の再興については、観光農園の振興を図るため、来園者を把握する調査、修学旅行生の受け入れなど、様々な観点から施策を検討する必要がある。	[地域振興課]
		意見 9 で回答	
4		企業誘致については、港湾や物流施設などの八戸港の優位性を踏まえ、畜産関連企業も含めて幅広い企業の誘致を推進する必要がある。	[産業振興課] [農林畜産課]
		<p>【産業振興課】 企業誘致に係る情報収集事業を展開しながら企業訪問を実施する予定です。</p> <p>【農林畜産課】 畜産の国内一大基地化を目指し「畜産関連産業振興ビジョン」を策定することとしており、平成 26 年 8 月にビジョン検討会議を設置する予定です。</p>	
5		観光・サービス業の再興については、種差海岸の三陸復興国立公園への指定、三陸ジオパークの認定、世界遺産の登録を目指している是川縄文遺跡・長七谷地貝塚等、本市が誇る自然・歴史・文化の価値や魅力を生かし、観光客誘客のための商品開発を強化するとともに、専門知識を持つボランティアの育成等にも積極的に取り組む必要がある。	[観光課] [社会教育課] [是川縄文館]
		<p>【観光課】 八戸観光コンベンション協会と協力して進めている「街歩きとおもてなし強化事業」において、新しい観光商品造成について取り組んでいます。今後も新しい視点を取り入れながら継続的な商品造成を行う一方で、県外からも広く誘客できるような情報発信や商品の仕立て方をしてまいります。</p> <p>【社会教育課・是川縄文館】 平成 26 年度においても、ミュージアムショップで、縄文文化に関連したグッズを販売する方針をとっています。 また、ボランティア養成講座で専門的知識を得られるような内容を方針として持っているほか、ボランティアは自主的学習会も行っています。</p>	

個別の施策・事業に対する意見

2 「地域経済の再興」

(1) 水産業の再興

No.	意見の内容		[担当課]
	対応状況	対応内容	
6		水産物の輸出については、水産業の地域間競争をリードしていくため、マーケットを国内だけでなく海外も含めた視点でとらえ、水産業界に対して輸出に関するヒアリング調査を行うなど業界のニーズや課題を踏まえた戦略的な施策を講じていただきたい。	[水産事務所]
		対EU輸出施設として、荷捌き所A棟の登録申請を予定しています。 また、国の事業である輸出国の求める衛生基準に対応するための水産加工流通施設の改修支援事業に5社が採択され、施設改修が進められております。	
7		水産都市八戸にとって、魚市場、漁港、漁船等のハード面の復旧も重要なことではあるが、漁船員の確保など、漁業に従事する労働者を確保するためのソフト面での施策も重要であることから、市の労働部門と水産部門が相互に情報共有を図りながら、連携して施策を実施していただきたい。	[水産事務所] [雇用支援対策課]
		<p>[水産事務所] 漁船員の求人・求職の情報提供については、八戸海事事務所や海員組合が主に行っていますが、漁業関係企業等に対し、漁船員などの求人を行う場合には、ハローワークばかりでなく、八戸市の無料職業紹介所の利用等と呼びかけ、雇用支援対策課と連携をとりながら進めてまいります。</p> <p>[雇用支援対策課] ハローワーク及び八戸市無料職業紹介所で、漁船員などの求人又は求職者があった場合は、水産事務所と相互に連絡を取り合い、マッチングするように努めてまいります。</p>	
8		県経営安定化サポート資金における東日本大震災中小企業経営安定化枠は、平成26年3月末で終了予定とのことであるが、震災に伴う間接被害により事業活動に影響を受けた中小企業者にとって、大変効果的な事業であることから、県に対し、事業の延長を働きかけていただきたい。	[商工政策課]
		平成26年度も引き続き県経営安定化サポート資金「災害枠」として制度が継続されます。なお、市では、当該災害枠を利用して設備投資(5,000万円まで)を行う際、信用保証料を全額助成することとしております。	

(2) 農林畜産業の再興

No.	意見の内容		[担当課]
	対応状況	対応内容	
9		観光農園の今後の効果的PR方法を考えるために、来園者がどこから来ているのか等を把握するための調査を検討していただくとともに、下降気味である来園者数へ歯止めをかけるためにも、修学旅行生の受入れのためのPRの強化など、更なる誘客促進に向けた施策を講じていただきたい。	[地域振興課]
		<p>来園者の調査については、観光農園開園時に各園地でアンケート調査を行い、来園者の把握を実施しております。</p> <p>修学旅行生の受入れの強化については、三八地方農業観光振興協議会(八戸市、南部町、三戸町、田子町、階上町及び関係団体で組織)へ南の郷ツーリズム協議会が加入し、対応しております。</p> <p>観光農園の効果的PR方法及び誘客促進に向けた施策については、南郷観光農業振興会が実施の検討を行い、補助事業を活用して取り組んでおります。</p>	

(3) 企業活動の再興

No.	意見の内容		[担当課]
	対応状況	対応内容	
10		港湾・物流施設など他の地域に比して優位性を持つ八戸港の特色を踏まえ、引き続き企業誘致を積極的に推し進めていただきたい。	[産業振興課]
		<p>当市の立地環境や八戸港の優位性をPRする「八戸セミナー」を、昨年7月に東京と名古屋で開催し、市長によるトップセールスのほか、当市の立地企業等による講演会を行っております。今年度も引続き実施しております。また、昨年11月には展示会「メッセナゴヤ」に出展しました。</p> <p>このほか、首都圏をはじめとする企業訪問を随時行っています。</p>	

(4) 観光・サービス業の再興

No.	意見の内容		[担当課]
	対応状況	対応内容	
11		八戸の自然、文化・歴史、食、祭り、体験など、八戸の魅力を満載したDVD「フィールドミュージアム八戸」は、多くの方に見ていただいてこそ観光PR用DVDとしての効果が発揮されると思われるので、一般販売や、市ホームページで視聴ができるよう検討していただきたい。	[観光課]
	×	<p>DVDの販売はしておらず、今後販売する予定もありませんが、旅行会社への販促品、メディア取材の素材、継続的に放映して観光PRに寄与する店舗・施設等に提供しています。</p> <p>なお、ホームページでの視聴は著作権の問題があるため、対応できません。</p>	

No.	意見の内容		[担当課]
	対応状況	対応内容	
12		<p>縄文遺跡群世界遺産登録に向けて、「はっち」を起点とした長七谷地貝塚と是川遺跡を巡るバスツアーを定期的実施するとともに、旅行事業者と連携して種差海岸と併せた旅行パッケージを観光客向けに開発していただきたい。</p>	<p>[観光課] [社会教育課] [是川縄文館]</p>
	×	<p>【観光課】 現時点では長七谷地貝塚は観光資源として見学に適しておらず、是川遺跡も併せた定期バスツアーの実施については、観光サイドとしては検討しておりません。</p> <p>【社会教育課・是川縄文館】 長七谷地貝塚と是川遺跡だけを巡るバスツアーでは、集客効果が薄く、限定的であると考えます。なお、実施する場合は、市内の様々な文化財・施設を巡る形の方が良いと思われます。</p>	
		<p>【観光課】 旅行パッケージについては、首都圏キャンペーン、観光PRイベント等に合わせ旅行業者を訪問し、種差海岸を活用した旅行商品の造成について働きかけています。</p>	
13		<p>三陸ジオパーク等を活用した事業の推進に当たっては、関係各課並びに民間との連携が必要となるので、今後の事業展開の方向性については官民協働体制で検討を進めていただきたい。</p>	[観光課]
		<p>青森県地学教育研究会等に、ジオパークガイド研修会や市内の資質調査時に協力いただいています。</p> <p>今後は三陸ジオパーク構成団体の中にも含まれている、工業大学や観光コンベンション協会等と、研修会やツアー実施について連携して取り組んでまいります。</p>	
14		<p>三陸ジオパークPR用動画を製作し、動画投稿サイトや市ホームページを活用して情報発信を行うとともに、民間放送局や新聞社を通して、三陸ジオパーク推進協議会における活動内容を積極的にPRするよう検討していただきたい。</p>	[観光課]
		<p>三陸ジオパークPR用動画を市で製作する考えはありませんが、三陸ジオパーク推進協議会で三陸ジオパーク全体のPR用動画を製作した場合には、それを活用する予定です。</p> <p>なお、イベントや研修会実施の際は市ホームページ(観光情報コーナー)のみでなく、三陸ジオパーク推進協議会のホームページ上でもお知らせしており、プレスリリースも行ってあります。</p> <p>市内のイベントのみでなく、三陸ジオパーク推進協議会全体の活動についても、市広報紙で特集記事を出すなどして情報発信していきます。</p>	
15		<p>蕪島、種差海岸の三陸復興国立公園の指定を受け、今後、縄文是川ボランティアガイド、根城史跡ボランティアガイドのような、専門知識を持つ観光ボランティアガイドの育成に努めていただきたい。</p>	[観光課]
		<p>今年度は外部講師及び地元講師として、有識者に御協力いただき、勉強会を実施する予定です。ガイドに興味を持っている人が、実際に種差海岸のフィールドで活動できるよう、ガイド団体及び関係者と協力しながら、育成に努めていきます。</p>	

No.	意見の内容		[担当課]
	対応状況	対応内容	
16		八戸公共交通アテンダント「はちこ」がバスへ乗車し、市内をガイドする事業については、今後も継続していただきたい。	[都市政策課]
		平成26年度も、観光客等に対する“おもてなし”の一環として、種差海岸遊覧バス「うみねこ号」において、“はちこ”が観光アナウンスを行う事業を継続します。	
17		インバウンド対策について、政府もイスラム圏の人々の増加を見越していることから、市としても勉強会などの対策を検討していただきたい。	[観光課]
		イスラム圏の誘客・受入れ体制整備というよりも、まずは、県や県観光連盟が進めているアジア圏を対象とした国内外でのプロモーション活動を一緒に進めていき、当市の認知度を上げ、誘客に努めてまいります。	
18		震災の影響により落ち込んだ観光宿泊客数は、徐々に戻りつつあるが、更なる誘客促進のため、季節やイベントに合わせたパック旅行の開発など、攻めの施策を積極的に講じていただきたい。	[観光課]
		旅行業者を訪問したり、担当者をモニターツアーに招聘したりするなど、旅行業者への積極的なPRを通じて、各季節に合わせた旅行商品造成の提案を継続しています。	